

●ポスターセッション (P-生物学的排水処理-02~12)

本ポスターセッションは、「生物学的排水処理」について11編のポスター発表があり、大変活発に討議が行われた。内容は、大きく分けて活性汚泥法や好気性処理に関するもの4件、嫌気性処理に関するもの2件、MBRおよび高度処理に関するもの3件、微生物燃料電池に関するもの1件、廃水の脱色に関するもの1件と多岐に渡った。

最近のトピックとして、医薬品の下水処理過程での挙動の把握に関する研究、微生物燃料電池の実排水処理への適用のための基礎的研究などが発表された。また、活性汚泥の電気化学的制御を試みた研究やスポンジ担体に固定化された微生物の酸素利用速度をin situに近い条件で測定する方法に関する研究、MBRにおける膜の阻止率に関する規定方法の提案、活性汚泥中の細菌の生物相の変化（主に原生動物などによる捕食が原因と考えられる）をPCR/T-RFLPにより定量的に評価する方法の開発など、新しい制御方法、測定方法等の開発に関する発表が行われた。

包括固定化微生物やガス透過式メンブレンを用いたMBRによる窒素除去、リン除去、白色腐朽菌の産する酵素を利用した糖蜜廃液の脱色など、高度処理に関する研究発表も多くなされた。さらに、可逆流バフフルドリアクターを用いた甘藷焼酎粕の高速嫌気性処理に関する研究、UASB法を下水処理に適用した場合の保持汚泥量と性状の定量的評価を試みた研究など、嫌気性処理に関する最新の研究も発表された。

(山口大学大学院・理工学研究科 今井 剛)